

第3回 ふれあいかわまちづくりWGの開催結果				
日時	平成24年3月2日(金) 13:30~15:30			
場所	ギャラリーかめおか 大広間5「湯の花」			
出席者	<p>神戸大学大学院 教授 道奥 康治 グループ長 篠町自治会 会長 牧野 吉明 副グループ長 亀岡商工会議所 専務理事 清水 宏一 保津川漁業協同組合 隅田 盛和 保津町安全・安心のまちづくり推進会議 畑 清司 亀岡地区東部自治会 八木 彰 亀岡地区中部自治会 山口 俊一 亀岡経済同友会 石倉 敬子 亀岡防犯推進委員連絡協議会 松井 功 花と緑の会 会長 尾崎 まこと</p> <p style="text-align: right;">(欠席3名)</p> <p>京都府南丹土木事務所 企画調整室 三谷室長 " 河川砂防室 松崎室長、井尻副室長、青木副主査、神原副主査 (事務局)</p> <p>亀岡市 企画政策課 俣野課長 " 都市計画課 古林課長 " 都市整備課 内藤係長 " 社会教育課 山内課長 " 桂川・広域交通課 中井課長、柴田副参事、竹村主査</p> <p style="text-align: right;">(欠席1名) (順不同、敬称略)</p>			
内容 (次第)	<p>1)開会 2)議事 ○前回の振り返りと今後の進め方 ○年谷川千本松「野橋立」の復元計画について ○「(仮称)保津川 花回廊」の整備計画について ○意見交換 ・ゾーニングの比較検討の説明 ・ゾーニング、各ゾーンの使い方について</p> <p>3)その他 4)閉会</p>			
結果	<p>○桜並木と松並木の一部実施について報告があり、地元篠町から今後の桜並木の整備に取り組む意向が表明された</p> <p>○右岸側の高水敷のゾーニングは、事務局案をベースに各メンバーの意見を踏まえて修正していく</p> <p>○次回から、より具体的に利用方法を検討できるよう、各メンバーに「それぞれができること」を考えてきていただく</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植樹した松や桜の管理方法や並木沿いの遊歩道整備をどうするののかも考える必要がある ・これから植える桜について、樹種を統一するか樹種を混ぜるか検討すべき ・篠町側からも車でアクセスしやすい経路が必要ではないか ・イベントの際だけなら高水敷内の河川管理用通路を臨時通路にする方法も考えられる ・自然ゾーンにもスポーツ利用できるスペースを設け、レクリエーションゾーンに自然を設けるなど、各ゾーンの使い方を明確に分けずミックスさせてはどうか 			

- ふるさと自然ゾーンに親子連れで遊べる小さな広場、レクリエーションゾーンには木陰ができる自然を取り入れてほしい
- 山本浜付近でよくBBQをされているので利用方法に反映させてはどうか
- 亀岡市は全体的にスポーツ施設が不足しているので、この機会にスポーツに利用できるスペースをできるだけ多く確保すべきと考える
- 洪水による被害とそれに伴う復旧費用などランニングコストの面も考慮すべき
- 京都の梅小路公園のような自然を取り入れた公園にして欲しい
- サイクリングロードは家族連れでゆっくり利用できるようにスポーツサイクリングは制限してはどうか
- 高水敷の利用方法と併せて、レンタサイクルやバスなどの移動手段についても検討が必要だと思う

